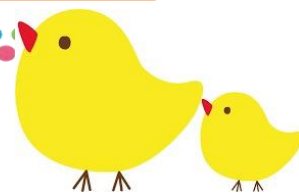


自立活動だより No. 8

平成31年2月14日
大宮ろう学園 自立活動部

乳幼児教育相談 自立活動の取り組み



乳幼児教育相談では・・・



乳幼児教育相談では、保護者の方ときこえない、きこえにくいお子さんの子育てについて学びあい、お子さんの全面的な発達を応援しています。今年度は、0～2歳児のお子さんが、47名（定期相談）通ってきています。他に見学相談のみが11名ありました。（1月末現在）

【取り組み】

- 個別相談・・・個々に合わせて、より良く伝え合えるように支援します。
- グループ活動・・・同年齢のお子さんと一緒に遊んだり様々な体験をしたりしています。また、保護者同士の交流の場にもなっています。
- 保護者学習会（下記）
- 関係機関との連携・・・医療機関や通園施設、保育園、幼稚園等と連携しながら支援しています。

保護者学習会

きこえない、きこえにくい子どもたちの子育てに関わって様々な情報を提供するために保護者学習会を行っています。

- 学習会「きこえにくさの体験」田中清之先生（聴覚支援部）
9月10日 12家族14名参加
- 講演「家庭でのコミュニケーション」戸田康之先生（幼稚部）
10月3日 14家族18名参加
- 講演「聞こえづらさと丁寧に付き合うこと」木場由紀子先生（目白大学教授 元ひまわり学園言語聴覚士）10月28日 11家族14名参加
- 講演「学力につながる乳幼児期の子どもとの付き合い方」南村洋子先生（大塚ろう学校講師）
1月26日 9家族13名参加
- 「絵本の読み聞かせ」末森杏先生（幼稚部） 7月9日、26日
- グループ学習の時にワンポイント手話学習会

【学習会に参加した保護者の感想】

☆家の中では、ちょっとした内容でも子どもに分かるように説明するよう心がけています。今後も家族全員が通じ合える環境を意識しながら作って行こうと思いました。また、子どもの気持ちをまず受け止めて、ありのままが良いという自己肯定感をしっかり育てていってあげたいと思いました。

☆「あいまいな世界」を作らないように、わかる体験を積み重ね、皆で通じ合う喜びを体験させて、心の成長にも力をつけていきたいです。

☆きちんと丁寧に子供と向き合って、まずはキャッチしてあげることが大切だと感じました。これからもっと丁寧に言葉を伝えてよく見て理解してあげたいと思いました。

